

授業科目	司法福祉論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE21218J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	木村 茂喜							
授業概要	<p>犯罪をした者や非行少年が再び立ち直るには、厳しい道のりが待っている。彼ら彼女らが、社会の一員として受け入れられるためには、本人の努力のみならず、彼ら彼女らが社会で自立して生活するための支援システムが不可欠であり、この支援システムにおける福祉専門職の果たす役割は近年において重要度が大きく増している。加えて、近年では、犯罪をした高齢者・障害のある者を福祉的支援へとつなぐ体制が少しずつ整備されてきている。</p> <p>本講では、社会で起こっている犯罪の現状や刑事司法・少年司法の諸手続きについて学習したうえで、更生保護制度・医療観察制度など、犯罪をした者や非行少年が社会復帰し、社会の中で自立して生活するための支援制度について学習する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 犯罪をした者・非行少年もいずれは社会復帰し、再び社会の一員となる、ということを正しく認識できる。(DP1-2,2-1)</li> <li>2. 刑事司法・少年司法の概要について説明できる。(DP1-2)</li> <li>3. 更生保護制度・医療観察制度など、犯罪をした者や非行少年が社会復帰し、社会の中で自立生活するための支援制度の概要について説明できる。(DP1-2,2-1)</li> <li>4. 刑事司法と福祉との連携の現状と課題について認識し、考察できる。(DP3-2)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	30	0	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	40	30					70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5					10	15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	5					10	15	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪をした者・非行少年もいずれは社会復帰し、再び社会の一員となる、ということを正しく認識できる。</li> <li>・刑事司法・少年司法の概要について正しく説明できる。</li> <li>・更生保護制度・医療観察制度など、犯罪をした者や非行少年が社会復帰し、社会の中で自立生活するための支援制度の概要について正確に説明できる。</li> <li>・刑事司法と福祉との連携の現状と課題について認識し、考察できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪をした者・非行少年もいずれは社会復帰し、再び社会の一員となる、ということを正しく認識できる。</li> <li>・刑事司法・少年司法の概要についてある程度説明できる。</li> <li>・更生保護制度・医療観察制度など、犯罪をした者や非行少年が社会復帰し、社会の中で自立生活するための支援制度の概要についてある程度説明できる。</li> <li>・刑事司法と福祉との連携の現状について認識できる。</li> </ul>				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: イントロダクション 講義の進め方、刑事司法と福祉との関係を学ぶ意義について説明する。	講義	復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	15
2	テーマ: 社会と犯罪 わが国における犯罪の特徴と現状について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
3	テーマ: 犯罪原因論と対策 犯罪原因論の内容と意義、犯罪原因論に基づく犯罪への対応について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
4	テーマ: 刑罰とは何か 刑罰制度の歴史、刑罰の種類と適応状況について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
5	テーマ: 刑事司法 逮捕から刑の執行に至るまでの刑事司法手続の概要について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
6	テーマ: 少年司法 対象となる少年の発見から終局決定に至るまでの少年保護手続の概要について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
7	テーマ: 施設内処遇(1)成人 刑務所をはじめとする刑事施設における処遇の在り方、刑事施設における福祉専門職の業務内容について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
8	テーマ: 施設内処遇(2)少年 少年院および少年鑑別所の組織体制と処遇、少年院における矯正教育と社会復帰支援の実際について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
9	テーマ: 社会内処遇(1)更生保護の理念と概要 更生保護の意義、更生保護制度の概要、更生保護におけるソーシャルワーカーの役割について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
10	テーマ: 社会内処遇(2)更生保護の実際 保護観察、仮釈放を中心とした更生保護の実際、関係機関のネットワークについて解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
11	テーマ: 医療観察制度 医療観察制度の概要・手続、社会復帰調整官の役割について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
12	テーマ: 高齢者・障害者による犯罪・非行と福祉 司法と福祉との連携の展開、地域生活定着支援センターの役割、犯罪・非行に至った高齢者・障害者に対する支援の実際について解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
13	テーマ: アディクションを抱える人と刑事司法 アディクション(依存症)を抱える人に対する刑事司法の対応やソーシャルワークについて解説する。	講義	予習: テキスト該当部分に目を通す 復習: テキスト該当部分・レジュメの見直し	30

14	テーマ:犯罪被害者等支援 犯罪被害者等支援に関する制度の概要、支援の実際について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
15	テーマ:コミュニティと刑事司法 刑事司法への市民参加、市民と犯罪との向き合い方について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:今までの講義内容の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	法学(1年前期)を履修していることが望ましい(履修していなくても受講は可能)。			
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉』(中央法規出版) そのほか、毎回の講義開始前にレジユメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法 2023[令和5年版]』(ミネルヴァ書房) そのほか、適宜、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義終了時に次回の講義で扱う教科書の範囲を示すので、次回の講義までに各自目を通しておくことが望ましい。また、講義後には各自でその日の講義内容について復習をしておくこと。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	「その他」は、各講義終了後、学生より提出されたコメントの記述内容に基づき評価する。 小テストおよび試験の詳細については、講義内で説明する。
--------------------------------	--